

2022年度Vもし会場 新型コロナウイルス感染予防対策について

【受験生・保護者の方へのお願い】

□ 申込時のお願い

- ①基礎疾患のある方、ご家族に基礎疾患のある方やご高齢の方がおられる場合、ご受験については慎重にご検討ください。
- ②試験会場にて、新型コロナウイルス感染者またはその疑いがある事例が発生した場合、必要に応じて保健所などの公的機関に個人情報を提供する可能性があります。予めご了承ください。
- ③以下の受験生についてはご受験・お申込みはご遠慮ください。
 - ・新型コロナウイルス感染症と診断され、治癒していない方
 - ・保健所等から新型コロナウイルスの濃厚接触者として健康観察や外出自粛を要請されている方
 - ・政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国・地域から日本に入国し、待機期間が終了していない方
- ④以下の場合において、会場模試の開催が急遽中止となる可能性があります。
 - ・国および自治体より、厳格な外出制限が発令された場合
 - ・学校や大学などの試験会場より、施設貸出を中止された場合
- ⑤弊社が定める新型コロナウイルス感染予防対策（【受験生・保護者の方へのお願い】、【会場実施における感染予防対策】）にご同意いただけない場合、ご受験・お申込みはご遠慮ください。

□試験日当日のお願い

①当日の朝、ご家庭で検温をお願いします。

受験票に体温をご記入いただき、保護者の方がご確認のうえ、ご署名・ご捺印（認印可）ください。
体温および健康状態に問題がある場合はご来場・ご受験をご遠慮ください。

②試験会場内では必ずマスクを着用してください。

鼻・口が覆われるようにきちんとマスクを着用してください。

上記をお守りいただけない場合は他の受験生の安全面を考慮し、受験途中であっても帰宅していただく場合があります。

③手洗い・うがいをこまめに行ってください。

④窓・扉を開放し、換気を行いますので、体温調整ができる服装でお越しください。

⑤飛沫飛散防止のため、会場内での不要な私語をご遠慮ください。

⑥休み時間などの時間帯はトイレに行く以外は自分の席に着席してください。

⑦以下の状態のとき、受験途中であっても帰宅していただきます。

- ・試験会場での検温により、37.5 度以上の発熱が確認された場合
- ・受験生より体調不良の申し出があった場合（別室で一時的に休むことはできません。）
- ・咳やくしゃみが出る状態が続く場合（別室でのご受験はできません。）
- ・試験監督スタッフの感染予防に関する指示に従っていただけない場合

⑧感染予防を目的とし、以下の持ち込み・使用を許可します。

- ・フェイスシールド（マスクは必ず着用）
- ・除菌シート、消毒液

【会場実施における感染予防対策】

□試験監督スタッフの感染予防対策

- ①試験日当日の朝、試験監督スタッフの検温を行い、健康状態を確認します。
- ②試験監督スタッフに発熱や咳などの症状がある場合は勤務を自粛させます。
- ③試験監督スタッフはマスクを着用し、こまめな手洗い・手指の消毒を行います。

□試験会場の感染予防対策

- ①試験前および試験終了後に、机・椅子・ドアノブ・手すりなど、不特定多数の方が接触する箇所は消毒を行います。
- ②試験会場に消毒液を設置します。試験日当日の受付時に、受験生に手指の消毒を行っていただきます。
- ③各教室の座席は通常配置とし、できる限り間隔を取ります。
- ④試験中は冷暖房を使用し、換気は基本的に休み時間ごとに行います。
- ⑤試験会場にて、必要に応じて、受験生に対して検温を行います。
体調不良が確認された受験生に対しては、ご受験をご遠慮いただきます。